

札幌医科大学医学部 消化器内科学講座

仲瀬 裕志 教授

【教室紹介】 当講座は昭和29年に内科学第一講座として開設され、平成28年2月に5代教授として仲瀬裕志先生が就任されました。臓器別再編により平成28年4月からは消化器内科学講座として新たなスタートを切りました。若手の指導医師も多いため、親身になって研修医や専攻医を指導することが可能で、また学生の自由選択実習でも実習先として選択してくれる学生が多くとても賑やかです。

【診療について】 診療においては消化管・肝臓・胆道・膵臓に関わる幅広い良性・悪性疾患を対象にしています。内科医としての基本的臨床能力(プライマリケア能力)を有することを重視しつつ、内視鏡検査・治療も積極的に行い、専門性の高い知識や技術を持った消化器内科医の育成に努めています。また、炎症性腸疾患やIgG4関連疾患などの難病・希少疾患の診療にも力を入れています。当院は全国で2施設目となる「炎症性腸疾患に関する難病診療分野別拠点病院」に指定されており、診断・治療に難渋する数多くの患者さんを診療しています。また、広大な北海道の医療を担う必要性から、当講座では遠隔連携診療に取り組んでいます。そして、患者さんに最良な医療を提供することももちろんのこと、日常の臨床や研究で得られた結果を世界に向けて発信しています。

【内科専門医研修プログラムについて】 消化器病(消化管・肝臓・膵)を専門として内科全般のマネジメントができる医師の育成を目標としています。初期研修終了後、卒後3~5年目の3年間は札幌医科大学附属病院および道内外の関連教育病院で研修を受けていただき、プライマリケア能力の向上と、消化器領域の基本的な知識・技術の習得を目指します。天理よろづ相談所病院、神戸市立西神戸医療センターとの連携体制により、北海道外の専門



医局紹介

全国の医局情報をPick Up



施設で研修を行うことも可能です。内科専門医取得に並行して、消化器病専門医・消化器内視鏡専門医・肝臓専門医などのサブスペシャリティ領域の専門医資格の取得を目指します。

【専門研修後のキャリア形成について】 臨床および基礎研究に力を入れており、Research mindを持って医学の発展に貢献できる人材の育成を行っています。数多くの国際共同治験や、多施設共同研究への参加を通して最新の治療を経験することができます。また基礎研究の手法を用いながら「臨床に生かすこと」を意識して、Physician-Scientist(臨床家であり、研究者であること)の育成を目指しています。また、国内外の専門施設への留学を積極的に支援しています。近年ですと、国立がん研究センター、静岡がんセンターへの留学実績があります。

消化器内科は内視鏡検査などの面で女性医師の需要が高い診療科の一つです。近年は女性の入室者も増えており、当講座では妊娠・出産時のサポートや、子育て期間の当直や出張免除などに取り組んでいます。

【当科に興味のある皆さんへ】 消化器内科医を志す皆さん一人一人が目標とする医師像を実現できるよう、指導医一同、全力でバックアップいたします。ぜひ一度見学に来てください。ご連絡お待ちしております！

文責:我妻 康平(教室長)



DATA

札幌医科大学医学部
消化器内科学講座

〒060-8543
北海道札幌市中央区南1条西16丁目
E-Mail : 1naiikyoku@sapmed.ac.jp



HPはこちら

医局員… 26人
指導医… 14人
専攻医… 5人

Research mindを育む教育を